

「こうち山の日実行委員会」第1回会議の概要

1 日 時：平成15年1月29日（水）13：30～15：30

2 場 所：高知市本町「市町村共済会館」

3 概 要

第1回会議では、委員の自己紹介の後、委員の互選により座長、副座長を選出しました。

- ・事務局の県森林局による資料説明を受け、「こうち山の日」の趣旨、実施時期について協議を行いました。

（配布資料）

- ・「こうち山の日実行委員会」設置要綱、検討項目
- ・他県の「山の日」等の制定状況
- ・高知県の森林・林業の現状
- ・「こうち山の日」についてアンケート結果
- ・森林局関係既存イベント等
- ・十和村の取り組み状況
- ・木の文化県構想関係PRパンフレット等

- ・協議では次のような意見がありました。

（趣旨について）

- ・簡潔で解りやすいという意見が大半であったが
- ・もう少し感動する表現がほしい
- ・もっと危機感を煽っても良い
- ・夢を含んだような表現が良い
- ・未来の県民が受ける恩恵という内容を追加してはどうか

（実施時期について）

- ・11月15日の猟期までが良い
- ・マムシ、ハチのいない時期
- ・春は他にもいろんな行事が多い
- ・山の人に来て欲しい時期
- ・紅葉の時期

などの意見が出され、実行委員会としては秋頃という方向で、具体的な日時については県民の意見を聴いて詰めていくことしました。

「こうち山の日実行委員会」第2回会議の概要

1 日 時：平成15年2月24日(月)15:00～17:00

2 場 所：高知市本町「高知グリーン会館」2階 森林ホール

3 概 要

第2回会議では、前回協議事項等の確認のあと、平成15年度「こうち山の日」関係予算(案)について、「こうち山の日」の制定について、関連事業についての協議を行いました。

- ・平成15年度「こうち山の日」関係予算(案)については、事業の中で県民参加の森づくりを進めていくために「こうち山の日」推進事業が重要な位置づけにあることを理解していただき、委員からは、基金運営委員会との関係はどうか、木材利用関係の予算が無いがそういった取り組みはどうかなどの意見が出されました。
- ・「こうち山の日」の制定については、趣旨について 実施時期の集約方法 山の日のPR方法について事務局案説明の後協議を行いました。
- ・趣旨については、前回の意見を踏まえて参加、行動、引き継ぐなどを追加し提案しましたが、なお、守るだけでなく育てることが大切という意見があったことから、趣旨としては、【「こうち山の日」の制定により、豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育て次代へと引き継いでいく】としました。なお、県民に呼びかける時には、サブタイトルがあったほうが良いという意見もありました。
- ・実施時期の集約方法、山の日のPR方法については、3月末からアンケートを中心としたキャンペーンを展開し、6月中旬には取りまとめ実行委員会で検討をお願いすることとしました。
- ・多くの意見が出されましたが、具体的には次回委員会でアンケート案を示し、詰めていくこととしました。
- ・関連事業については、委員からアイデアを出していただきましたが、時間の関係もあり具体的には次回から検討を行うことになりました。

「こうち山の日実行委員会」第3回会議の概要

1 日 時：平成15年3月27日（木） 15：00～17：00

2 場 所：高知市本町「高知グリーン会館2階（グリーンホール）」

3 概 要

第3回会議では、前回協議事項確認のあと、十和村の「山の暮らしづくり条例」と「山の日」の取り組み状況について説明を受け、「こうち山の日」キャンペーン方法について協議を行いました。

- ・十和村の取り組み状況については、グリーンツーリズムの活動を推進すること、県の「こうち山の日」の制定に当たって、その取り組みを参考とすること、また活動の連携を行うことなどの意見が出されました。
- ・「こうち山の日」キャンペーン方法については、「こうち山の日」に関する県民アンケートの質問内容や配布・集約の方法について、「こうち山の日」の活動で行う県民参加型の行事（イベント）について事務局案の説明の後、協議を行いました。
- ・この「こうち山の日」に関するアンケートについては、単に「こうち山の日」をいつにするかを定めるために、県民の意見を聴くというものではなく、その趣旨や活動をPRし、県民に理解を求めるツールの一つとして規模（配布枚数10万部）を大きくして実施すること、また、森林環境税や「こうち山の日」の趣旨・内容が理解できるペーパーを併せて配布すること、アンケートの回収率を高めるために学校教育関係、生協等の団体と連携すること、キャッチフレーズには、県民生活に直接繋がりがある水（河川）資源の減少を通して山の危機的な状況を伝える直接的な表現を盛り込むこと、などの意見が出されました。
- ・この「こうち山の日」の活動では、シンボリックな日として「こうち山の日」が中心にあり、イベント自体は秋の1か月程度の期間に、県内各地で開催する形が望ましいこと、イベントの受け皿となる市町村等に助成制度等の情報提供を早急に行い連携を図ること、イメージソングやイメージキャラクター、木材を使用した商品のアイデアを募集し、知事賞などのユニークな賞を設定して、表彰してはどうか。木をたくさん使うことが環境を守ることに繋がるということを実感してもらうためのイベントの仕組みが必要、などの意見が出されました。
- ・様々な意見が出されましたが、当面、早急に取り組みが必要な県民アンケートについては、この会での委員の意見を踏まえて再度、内容を検討・修正して実施すること、県民アンケートは、「こうち山の日」のPRの重要なツールとして、規模を拡大して行うこととしました。

その他のアイデアや意見については、事務局で再検討を行うこととなりました。

「こうち山の日実行委員会」第4回会議の概要

1 日 時：平成15年4月21日（月） 13：30～15：30

2 場 所：高知市本町 「高知グリーン会館2F（グリーンホール）」

3 概 要

第4回会議では、前回協議事項確認のあと、実行委員の交代、事務局職員の交代、森林局の新体制等の説明を受け、「こうち山の日」アンケート、今後のスケジュールについて協議を行いました。

- ・「こうち山の日」アンケートについては、出来上がったアンケート用紙を配布し、配布先(事務局案)についてご意見をお伺いし、今後のスケジュール説明のなかで、シンポジウムの企画等委託事業、推進事業費補助金について事務局案の説明のあと協議を行いました。
- ・ のアンケート配布先については、配布回収の方法、配布先団体の説明をうけ、対象地域、組織、対象年齢等のバランスを考慮し、高等学校、大学、建築士関係も対象に加えては、という意見がありました。また、どこから回収したのかが分析できるかたちで配布してはどうかという意見もありました。
- ・ のシンポジウムの企画等委託事業については、内容はコーディネーターで決まる、ビジョンをしっかり持つこと、視覚映像を使って訴えること、という意見がありました。また、興味のない人を呼びたい、そのためにコーディネーター、パネリストには有名な人を呼んではどうか、また「山を守ろう」とか「担い手が・・・」のような重たいイメージではなくて、「森を遊ぼう」「山へ行って遊ぼう」という感じで行い組みでは、という意見もありました。ターゲットは県民とし、一般の方々に対して解りやすいかたちのシンポジウム、イベントにして理解を頂くこと、などの意見がありました。次に、推進事業費補助金については、NPOや小さなボランティアグループが参加しやすいように、1/2補助にこだわらず、少額なら定額で補助できる制度を考えてはどうかという意見がありました。

様々な意見が出されましたが、アンケート配布先については意見のあったところを新たに加え、委員の方々にも協力していただく。回収先の分析については、時間的な余裕があれば対応するということになりました。委託事業、補助事業については、今回の意見を踏まえたかたちで作成し、財政サイドと協議をしていくこととしました。

「こうち山の日実行委員会」第5回会議の概要

1 日 時：平成15年5月30日（金） 13：30～15：30

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知城ホール2F（中会議室）」

3 概 要

第5回会議では、前回決定事項確認のあと、第一回森林環境保全基金運営委員会の報告があり、こうち山の日推進事業費補助金交付要綱、こうち山の日アンケート中間報告、こうち山の日制定記念行事等企画運営事業委託業務、今後のスケジュールについて協議を行いました。

- ・こうち山の日推進事業費補助金交付要綱については、小さな団体からいくつも申請があがってくれば大変だとは思いますが、小さなボランティアグループ、小さな団体がこの制度を使って活動してくれることが、山の日制定趣旨からしても大切だと思う、という意見がありました。内容については了承されました。
- ・アンケート結果の中間報告を受け、委員が独自に分析された結果を報告していただきました。
- ・こうち山の日制定記念行事等企画運営事業委託業務については、審査委員の任命とともに審査委員会を結成することについて協議をおこないました。つづいて、委託業務の業者説明会にあたり、他会場の空きが確認できたことから、シンポジウムとイベントの設定日について再確認したところ、やはり当初計画どおり別々で設定することが望ましいということになりました。またテーマ及びキーワードについて、こちらから提示し委託させることを検討し、いろいろな意見を伺いましたが、これはプロポーザルで提案してくださる企画会社の提案におまかせし、中身について審査側がイメージを固めていけばよいという事になりました。

「こうち山の日実行委員会」第6回会議の概要

1 日 時：平成15年6月24日（火）13：30～15：30

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知城ホール2F（中会議室）」

3 概 要

第6回会議では、前回決定事項確認のあと、こうち山の日アンケート最終結果の報告がなされ、こうち山の日が正式に決定されました。

こうち山の日制定記念行事等企画運営事業委託業務の審査結果について、受託業者から企画提案の概要説明のあと、協議をおこないました。

こうち山の日推進事業費補助金の審査会について、調整をおこないました。

- ・「こうち山の日」については、県民アンケートで約4割の方から11月11日が良いという指示を得て、また、どの年齢層からも指示を得ていることから、このアンケート結果にもとづき、11月11日を「こうち山の日」とすることが決定されました。
- ・受託業者より、キャラクター、イメージソングの提案、また制定記念シンポジウム、制定記念イベントの主な企画内容について概要説明がありました。これを受けて委員からはキャラクター、イメージソングの提案については、手法として望ましいという意見がありましたが、イメージキャラクターは他の広報でも共通して使用できる一つのものにするべきだという意見がありました。また、11月11日のイベント内容が少し弱いとの意見があり、これについては今後の委員会でも詰めていくこととしました。
- ・こうち山の日推進事業費補助金の審査会については、委員5名、事務局2名、計7名で次回7月22日の午前中におこなうことに決定しました。

「こうち山の日実行委員会」第7回会議の概要

1 日 時：平成15年7月22日（火） 13：30～15：30

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知城ホール2F（中会議室）」

3 概 要

第7回会議では、前回決定事項確認のあと、こうち山の日推進事業費補助金の審査結果について報告がなされ、こうち山の日推進事業等実施委託料の実施内容、こうち山の日制定記念行事等企画運営事業委託業務について協議を行いました。

- ・こうち山の日推進事業費補助金の審査については、実行委員会より5名の審査員をお願いし、総数59件の事業計画書について審査をしていただき、その審査結果と内容について松崎審査委員長より報告をしていただきました。
- ・こうち山の日推進事業等実施委託料については、馬路村で10年間開催されてきたイベント「山師達人選手権大会」を高知市で開催することとし、委託料でおこなうことについて協議をおこない、了承されました。競技だけではなく、あわせて山や木、間伐の必要性などを訴えるパネル展示や木材・住宅関係の展示もおこなってはどうかという意見がありました。
- ・こうち山の日制定記念行事等企画運営事業委託業務については、11月11日に実施するイベントのプログラムの説明を受けました。制定の年に開催する制定日のイベントにしては少し弱い、もっと内容を検討し、インパクトのあるものにすべきだという意見がありました。これについては、事務局と企画会社で再検討することとなりました。

「こうち山の日実行委員会」第8回会議の概要

1 日 時：平成15年9月8日（月） 13：30～15：30

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知県庁北庁舎（4F会議室）」

3 概 要

第8回会議では、前回決定事項確認のあと、こうち山の日共催・協賛活動等、シンポジウム及び制定記念イベント内容等、「山師達人選手権大会 in こうち」の概要について説明をうけ協議を行いました。

- ・こうち山の日共催・協賛活動等については、補助金で支援するものを含めて延べ81件（実施団体55）の事業の説明をうけました。ただ、これらを県民に広く周知していくためには広報等に工夫が必要という指摘がありました。
- ・シンポジウムについては、話のすすめかたや、取り入れる映像の手法やイメージについて協議をおこないました。制定記念イベントについては、前回指摘のあった内容について再検討したプログラムの説明をうけ協議をおこないました。
- ・「山師達人選手権大会」については、具体的なすすめかたや、開催要項について説明をうけました。

「こうち山の日実行委員会」第9回会議の概要

1 日 時：平成15年10月8日（水） 13：30～15：30

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知城ホール2F（中会議室）」

3 概 要

第9回会議では、座長及び副座長の交代の確認のあと、前回決定事項確認のあと、シンポジウム及び制定記念イベントの内容等の説明を受け、こうち山の日制定記念コンクール審査をおこないました。

- ・シンポジウムと制定記念イベントについて、内容やステージ、進行計画について最終の確認をおこないました。シンポジウムでは会場内で森の雰囲気づくりをおこなうこと、梶原や馬路の製品展示もあわせておこなってはどうかという意見が出ました。
- ・制定記念コンクールについては4部門に対し応募総数193点の作品が申し込まれ委員さんの熱心な審査のもと、各部門ごとに最優秀1点、優秀1点が選定され、シンポジウムで表彰をおこなうとともに、受賞者、申込者に記念品を送付することが決定されました。

「こうち山の日実行委員会」第10回会議の概要

1 日 時：平成16年1月20日（火） 15：15～17：15

2 場 所：高知市丸ノ内 「高知城ホール2F（中会議室）」

3 概 要

第10回会議では、前回決定事項確認のあと、「こうち山の日取り組み」の報告を受け、反省と課題、平成16年度予算及び取り組み方針について協議をおこないました。

- ・「こうち山の日取り組み」の報告では、初回の実行委員会から第9回会議までの概要と、各イベントの実施状況などの報告を受けました。
- ・反省と課題について、こうち山の日推進事業費補助金については、秋は行事が多いので年中取り組めるものにしてはどうか、という意見が出されました。また、環境教育においては地域の人々の活用なども試みてはどうかという意見もありました。

委員の皆様には、今後、こうち山の日関連の公募事業等の審査員や各地域のリーダーとなって、「こうち山の日」を盛り上げていただくことをお願いして終了しました。